

ウッド・チェンジ・ネットワーク第1回会合

「三菱地所グループの木質部材に関する取り組み」

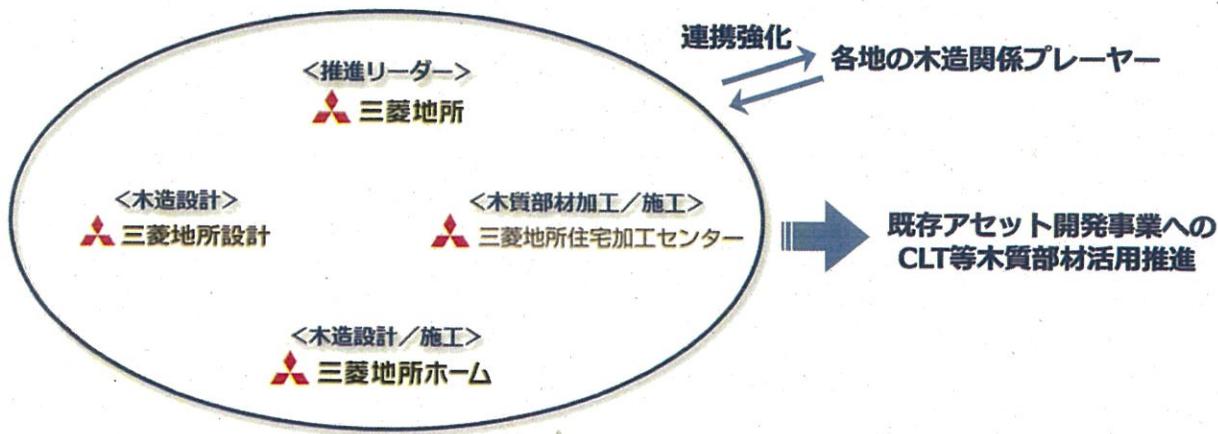
三菱地所 CLTユニット 柳瀬拓也

2019.2.27

1

三菱地所グループの木質部材に関する取り組み

- 三菱地所では、近年、加速度的に世の中の関心が高まっているCLT等の木質部材に着目し、三菱地所グループの様々なアセット開発事業に木造化・木質化を採用することを主たるテーマとして研究に取り組むCLTユニットを創設しました。
- CLTユニットでは、三菱地所グループが保有する木造建築物の設計・施工機能や不動産情報ネットワークを活かし、各地の木造関係プレーヤーと積極的に連携を深めることで、木質部材活用を推進していく所存です。



I. 下地島空港プロジェクト（工事中）

計画地	沖縄県宮古島市伊良部字佐和田1727番地
建築主	三菱地所
設計・施工	日建設計・國場組、大米建設
敷地面積	31,580 m ²
施設面積	13,840 m ²
規模	地上1階
構造	RC造+木造
空港施設	チェックインカウンター：12箇所 搭乗ゲート：3箇所 到着ロビー：国内・外線各1箇所 飲食店：2店舗 物販店：3店舗 バス乗り場、タクシー乗り場、 レンタカー受付



3

人を、想う力。街を、想う力。  三菱地所

II. (仮称) 泉区高森2丁目プロジェクト（工事中）

計画地	宮城県仙台市泉区高森2丁目一番地
建築主	三菱地所
設計・施工	竹中工務店
用途地域	第二種中高層住居専用地域
地区計画	パークタウン地区計画
敷地面積	3,550.78 m ²
建築面積	520 m ²
延床面積	3620 m ²
規模	地上10階
建物高さ	33.695 m
構造	木造+鉄骨造 ※ 木造ハイブリッド構造 柱・梁：鉄骨造+燃エンウッド 床：RC造+CLT 耐震壁：CLT
工期	2018年3月～2019年2月



4

人を、想う力。街を、想う力。  三菱地所

III. (仮称) 岩本町3丁目プロジェクト (設計中)

計画地 千代田区岩本町3丁目7-5(地番)
建築主 三菱地所
設計・施工 三菱地所設計、久保工・久保工
敷地面積 145.61 m²
建築面積 90.07 m²
延床面積 641.36 m²
規 模 地上8階
建物高さ 33.695 m
構 造 木造+鉄骨造
※ 木造ハイブリッド構造
柱・梁：鉄骨造
床 : RC造+CLT

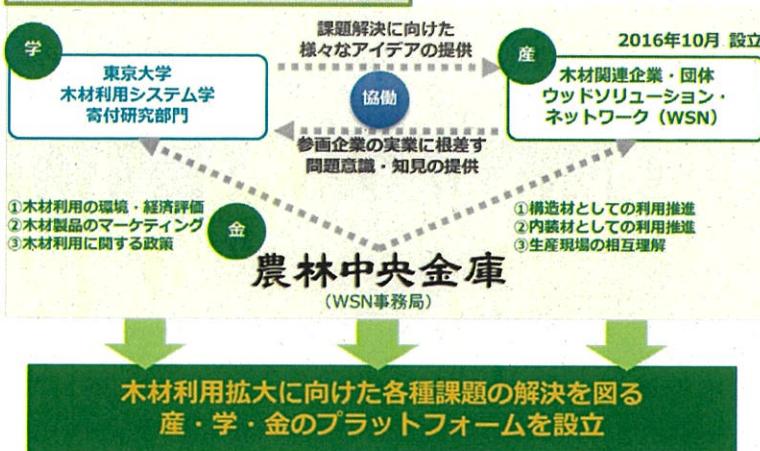


ウッドソリューション・ネットワークについて

設立の背景・経緯等

- 戦後に植林された木は伐期が到来。一方、人口減少に伴う住宅着工戸数の減少等により木材需要の大きな回復は見込みにくいことから、木材利用の用途拡大が急務と認識。
- 農林中央金庫は、2016年10月、東京大学への寄付を通じた「木材利用システム学寄付研究部門」の設立支援と併せ、森林・林業・木材産業の一層の発展を願う関連企業等が参画した「ウッドソリューション・ネットワーク(WSN)」を設立。
- 林業生産者団体や、木の加工・流通に従事する製材会社、商社、ゼネコン、ハウスメーカー等、木に関わる31の関連企業・団体で構成。木材利用拡大に向けた各種課題解決を図るべく取組中。

産・学・金連携のプラットフォーム構築



3つの分科会

WSNでは、①非住宅分野における構造材としての木材利用推進分科会、②非住宅分野における内装材としての木材利用推進分科会、③生産現場と需要側の相互理解深化・推進分科会の3つの分科会にて木材利用拡大に向けた各種課題解決に取組中。

構造材分科会

・木材の「利用量」の観点から、非住宅構造材としての利用意義が大きいことを背景に設置。国内の中大規模木造物件を視察し、中大規模木造建築推進のための課題を明確化したうえで、課題解決に資するアプローチブック(施主向けを想定)を制作中。



内装材分科会

・構造材としての利用に量的には及ばないものの、ユーザーへの「木の良さの訴求」という観点から家具・内装としての利用意義が大きいことを背景に設置。都市部での木材利用を志向し、オフィス家具メーカーが協働した「木製オフィス家具試作」、内装の木質化を施主に提案できるクリエイターを増やすための「木質空間デザイン・アプローチブック制作(2018年10月18日発行)」に取組み。



相互理解分科会

・川上企業から川中・川下企業へのプレゼンテーションや、川上の現場視察を通じ、川上の現状を理解・共有化。木材供給バリューチェーンの理解深化を通じて、木材の利用拡大に資する取組みとする検討中。

農林中央金庫

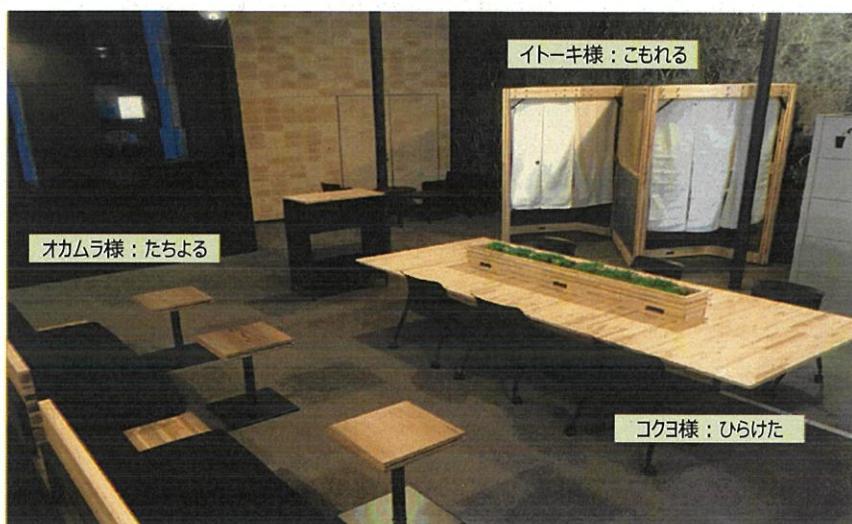
1

「内装材分科会」の取組成果 ~木製オフィス家具試作・展示~

展示期間：2018年10月22日（月）～2018年11月2日（金）

展示場所：大手町JAビル1階ラウンジ

目的：WSN会員企業の協同のもと、木製オフィス家具等を作成し、都市部で働くビジネスパーソンに対し、木につわるストーリー等の情報発信や実際に木に触れてもらう機会の提供を通じて、「木の価値」を訴求。



【木製オフィス家具展示の様子】



【原木・パネル展示の様子】

「内装材分科会」の取組成果～木質空間デザイン・アプローチブック～

内装デザインを施主に提案するクリエイター（デザイナー、プランナー等）の皆様に向けて、木材を使った内装提案に取り組んでいただくための冊子「MOKU LOVE DESIGN～木質空間デザイン・アプローチブック～」を制作。



【コンテンツ】

- ・「森の達人」からのメッセージ
- ・特別対談：木を活かしたデザインを考えるにあたり
- ・5つの個性的な取組み事例
- ・木質空間デザインを取組むにあたり手助けとなる知識
- ・今後の活動 等

農林中央金庫

3

「構造材分科会」の取組内容～構造材アプローチブック製作～

コンセプト：施主が読んで非住宅木造を建てたくなる冊子、
読めば非住宅木造が建てられる冊子

項目	内容
ターゲットとする建物	「最高3階建て、最大3,000m ² 、準耐火」
訴求対象	施主（主に民間企業）向け
訴求内容	①木を使う価値を訴求する ②木造のメリットを訴求する ③木造に対する誤解を解く ④木造建築の流れを解説する
分量	28頁～最大36頁 (最後まで目を通してもらえるボリューム)
完成時期	平成31年6月 (建築基準法の改正時期を意識)

活用イメージ案
(今後コンテンツ内容
を見ながら検討)

- ・WSN企業による取引先への営業ツールとして活用
- ・経営者団体（全国・地域レベル）等の会合でプレゼン
- ・日経アーキテクチャー「木材活用最前線」への掲載
- ・農林中央金庫または農中総研HPでの掲載